

小規模事業者経済動向調査 概要版

(VOL. 4 平成30年1月調査)

平成30年1月、第4回「小規模事業者経済動向調査」を実施し、その結果をとりまとめましたので以下ご報告いたします。

調査概要

(1) 調査目的

本調査は、市内の小規模事業者の経営動向を把握し、適切かつ効果的な経営サポートを推進する基礎資料として活用することを目的とする。

(2) 調査時期

調査対象時期：平成29年7月～12月実績及び平成30年1月～6月見通し

調査期間：平成30年1月18日～平成30年2月5日

(3) 調査方法

仙台商工会議所の小規模事業所リストから、産業別は無作為抽出した市内の小規模事業所2,000社に対し、調査票を郵送にて送付・回収した。

(4) 回収状況

業種	対象事業所数 (件)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)
総計	2,000	977	48.9
製造業	150	73	48.7
非製造業計	1,850	904	48.9
建設業	560	298	53.2
運輸業	40	29	72.5
卸売業	110	56	50.9
小売業	300	145	48.3
宿泊・飲食サービス業	120	47	39.2
不動産業・物品賃貸業	240	111	46.3
サービス業（個人向け）	140	66	47.1
サービス業（法人向け・ほか）	340	152	44.7

ODIについて

DIとは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略であり、「良い／悪い」「増加／減少」などの定性的な判断を指標として集計・加工した指数である。

「上昇」（「増加」、「過剰」、「緩い」、「増員」、「増強」、「良い」、「好転」）と答えた事業者の割合（%）－▲「下降」（「減少」、「不足」、「厳しい」、「減員」、「縮小」、「悪い」、「悪化」）と答えた事業者の割合（%）

分析にあたっては、DI値のみではなく、回答の構成比、前回調査からのDI値の変化に留意する必要がある。

〇仙台市企業経営動向調査について

本概要版で参考として記載している「仙台市企業経営動向調査」は、仙台市経済局が市内の経済動向を把握するため四半期ごとに実施している調査で、仙台市内の大・中・小規模事業所1,000社を対象としている。

調査結果の総括

～今期の業況D Iは▲21.2とやや上昇、来期は下降の見通し～

今期（平成29年7～12月）の業況（業況の良し悪し）D Iは、▲21.2となった。前期調査（平成29年1～6月）の業況D I ▲24.8と比較して3.6ポイント上昇した。参考として、「仙台市企業経営動向調査（平成29年7～9月）」の業況D I ▲15.3と比較すると5.9ポイント低い結果となっており、小規模事業者を取り巻く状況の厳しさがみられる。

業況D Iが上昇した業種

- 【製造業】業況D Iは▲27.4（前期比+9.5）と2期連続の上昇となった。売上高D I、販売数量D I、経常利益D Iがいずれも2期連続で上昇し、好調な動きを見せている。
- 【運輸業】業況D Iは▲14.3（前期比+4.9）となった。労働力D Iが▲74.0（前期比▲30.0）と人手不足感が強まったものの、事業所の業況（業況の変化）D Iは0.0（前期比+11.5）と上昇し、来期の業況D I見通しは0.0（今期比+14.3）となるなど、今後への期待感が感じられる。
- 【小売業】業況D Iは▲35.2（前期比+17.5）と10ポイント以上上昇した。
- 【宿泊・飲食サービス業】業況D Iは▲19.1（前期比+26.7）と大きく改善した。小売業とともに、各種イベントや、夏に開催された全国高等学校総合体育大会、全国高等学校総合文化祭、全国和牛能力共進会等の集客効果によるものと思われる。
- 【不動産業・物品賃貸業】業況D Iは▲5.6（前期比+3.5）となった。製（商）価格D Iが▲18.2（前期比▲23.7）と大きく下降したが、販売数量D Iは▲8.3（前期比10.8）と上昇したため、それほど落ち込みにはならなかったと考えられる。

業況D Iがほぼ横ばいの業種

- 【建設業】業況D Iは▲14.3（前期比▲0.9）とほぼ横ばいで、業況の変化が少ない状態が続いている。

業況D Iが下降した業種

- 【卸売業】業況D Iは▲39.3（前期比▲3.9）と2期連続の下降となった。仕入原価の上昇に加え、売上の減少が主な下降要因と考えられる。
- 【サービス業（個人向け）】業況D Iは▲38.7（前期比▲5.9）となった。製（商）品価格D Iが▲15.7（前期比▲30.0）とマイナスに転じたほか、業況が悪い理由として、来店客（回）数の減少・高齢化、新規顧客不足といった声が多く挙げられた。
- 【サービス業（法人向け・ほか）】業況D Iは▲17.6（前期比▲3.5）となった。こちらは、受注の減少が主な理由として多くなっている。

先行きについては、来期（平成30年1～6月）の業況D Iは▲26.3と、今期と比較して5.1ポイント下降する見通しである。業種別にみると、運輸業及び卸売業では上昇し、小売業及びサービス業（個人向け）ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降する見通しとなっている。

～原材料（仕入）価格が上昇～

調査項目別にみると、売上高D Iが▲21.2（前期比▲1.0）とやや下降したほかは、上昇あるいはほぼ横ばいの結果となっている。いずれもD I値は小幅な動きで、前期調査と比べ大きな変化はなかった。ただ、原材料（仕入）価格D Iは38.8（前期比+7.2）と今期最も上昇幅が大きかった。

～第1位の「売上・受注の停滞、不振」変わらず～

経営上の課題については、製造業、非製造業ともに、「売上・受注の停滞、不振」が最も多く、それぞれ42.5%、42.6%となっている。過去調査からも緩やかな増加傾向がみられると共に、「仙台市企業経営動向調査（平成29年7～9月）」と比較すると、製造業は3.1ポイント、非製造業は11.9ポイント高くなっている。以下、製造業では「原材料・仕入製（商）品高（34.2%）」、「求人・人材難（31.5%）」、「諸経費の増加（26.0%）」、「生産・販売能力の不足（20.5%）」、非製造業では「競争の激化（30.2%）」、「求人・人材難（28.1%）」、「諸経費の増加（24.8%）」、「設備・店舗等の老朽化又は狭さ（18.4%）」の順となっている。

＜小規模事業者経済動向調査結果（DI）の総括表＞



※表中の*印を付した項目は、DI値が小さい方が好況である。 ↗ 上昇 ▬ 横ばい・ほぼ横ばい ▼ 下降

＜業況判断（事業者の業況）DIの動向＞

業種	今期実績	来期見通し	業種	今期実績	来期見通し	業種	今期実績	来期見通し
製造業	↗	▼	卸売業	▼	↗	不動産業・物品賃貸業	↗	▼
建設業	▬	▼	小売業	↗	▬	サービス業(個人向け)	▼	▬
運輸業	↗	↗	宿泊・飲食サービス業	↗	▼	サービス業(法人向け・ほか)	▼	▼

↗ 上昇 ▬ 横ばい・ほぼ横ばい ▼ 下降

※DI = 「良い」と答えた事業所の割合(%) - 「悪い」と答えた事業所の割合(%)
 ※表中の「今期」はH29年7～12月を、「来期」はH30年1～6月を表す。
 ※本調査における業況判断(事業者の業況)DIとは、設問6-1<今期の事業所の業況(業況の良し悪し)DI>をいう。

調査結果の概要

- 今期の売上高のDIは▲21.2（前期比▲1.0）と、平成29年6月調査（以下、「前回調査」）時の平成29年1～6月期（以下、「前期実績」）DIの▲20.2と比べやや下降した。業種別では、建設業、運輸業、卸売業及びサービス業（個人向け）では下降し、これら以外の業種では上昇した。来期は▲22.9とやや下降する見通しである。
- 今期の販売数量のDIは▲22.1（前期比+0.9）と、前回の▲23.0と比べほぼ横ばいとなった。業種別では、建設業、卸売業及びサービス業（個人向け）では下降し、これら以外の業種では上昇した。来期は▲24.1とやや下降する見通しである。
- 今期の経常利益のDIは▲25.1（前期比▲0.6）と、前回の▲24.5と比べほぼ横ばいとなった。業種別では、製造業、建設業及び小売業では上昇し、宿泊・飲食サービス業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。来期は▲28.2とやや下降する見通しである。
- 今期の製（商）品単価のDIは12.0（前期比+1.7）と、前回の10.3と比べやや上昇した。業種別では、建設業、小売業、宿泊・飲食サービス業及びサービス業（法人向け・ほか）では上昇し、製造業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。来期は10.7とやや下降する見通しである。

- 今期の原材料（仕入）価格のD Iは38.8（前期比+7.2）と、前回の31.6と比べ上昇した。業種別では、不動産業・物品賃貸業では下降し、これ以外の業種では上昇した。来期は37.8とやや下降する見通しである。
- 製（商）品在庫のD Iは4.6（前期比+3.1）と、前回の1.5と比べやや上昇した。業種別では、製造業及び宿泊・飲食サービス業では下降し、運輸業では横ばい、これら以外の業種では上昇した。
- 労働力のD Iは▲31.2（前期比+0.2）と、前回の▲31.4と比べほぼ横ばいとなった。業種別では、製造業、運輸業及び宿泊・飲食サービス業では下降し、小売業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。
- 生産・営業設備のD Iは▲20.5（前期比+0.3）と、前回の▲20.8と比べほぼ横ばいとなった。業種別では、建設業、卸売業、小売業及びサービス業（個人向け）では上昇し、これら以外の業種では下降した。
- 資金繰りのD Iは▲31.0（前期比▲0.5）と、前回の▲30.5と比べほぼ横ばいとなった。業種別では、卸売業、小売業、不動産業・物品賃貸業及びサービス業（法人向け・ほか）では上昇し、宿泊・飲食サービス業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。
- 金融機関の対応のD Iは3.1（前期比+1.2）と、前回の1.9と比べやや上昇した。業種別では、宿泊・飲食サービス業、サービス業（個人向け）及びサービス業（法人向け・ほか）では上昇し、小売業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。
- 正規従業員数のD Iは20.9（前期比+1.6）と、前回の19.3と比べやや上昇した。業種別では、卸売業及びサービス業（個人向け）では下降し、建設業、不動産業・物品賃貸業及びサービス業（法人向け・ほか）ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。
- 非正規従業員数のD Iは9.7（前期比+1.0）と、前回の8.7と比べやや上昇した。業種別では、卸売業、サービス業（個人向け）及びサービス業（法人向け・ほか）では下降し、これら以外の業種では上昇した。
- 生産・営業用設備（予定）のD Iは12.8（前期比+1.5）と、前回の11.3と比べやや上昇した。業種別では、小売業では下降し、建設業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。
- 今期の事業者の業況（今期業況の良し悪し）のD Iは▲21.2（前期比+3.6）と、前回の▲24.8と比べやや上昇した。業種別では、卸売業、サービス業（個人向け）及びサービス業（法人向け・ほか）では下降し、建設業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。来期は▲26.3と下降する見通しである。
- 事業者の業況（業況の変化）のD Iは▲15.7（前期比▲0.3）と、前回の▲15.4と比べほぼ横ばいとなった。業種別では、製造業、運輸業、小売業及び宿泊・飲食サービス業では上昇し、建設業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。
- 経営上の課題の第1位から第3位までを合算して集計を行うと、「売上・受注の停滞、不振（42.6%）」を挙げる事業者が最も多かった。以下、「競争の激化（29.3%）」、「求人・人材難（28.4%）」、「諸経費の増加（24.9%）」、「原材料・仕入製（商）品高（18.9%）」、「設備・店舗等の老朽化又は狭さ（18.4%）」の順となっている。

業種別調査結果（D I）の詳細、主要経済指標などを記載した報告書については、仙台商工会議所HP内の「会議所インフォメーション」および「要望・提言・調査」に掲載しております。

【発行 仙台商工会議所】

〒980-8414 宮城県仙台市青葉区本町2-16-12 TEL : 022-265-8127 FAX : 022-214-8788